

# 世界銀行東京事務所ニュースレター

2022年（令和4年）3月号



## 最近の動き

### 西尾副総裁インタビュー（国際開発ジャーナル3月号）

世界74の最貧国を支援するIDA（アイダ：国際開発協会）担当の西尾副総裁が国際開発ジャーナルの取材を受け、昨年末にまとまった第20次増資（IDA20）のポイントなどを紹介しました。



### ウクライナ：マルパス総裁の声明（抄）（2/24）

「世界銀行グループは、長年にわたるウクライナのパートナーであり、ウクライナの人々と共にあることを明らかにしたい。・・・ウクライナへの支援を直ちに実行するため、関係各国・国際機関と連携しつつ、様々なオプションの準備を進めている。また、影響を受ける近隣国や人々をサポートするための協議も重ねており、追加支援を行う予定である。」

### トンガ：火山噴火等に伴う被害は9,000万ドル（GDP比18.5%：約100億円）

世界銀行の調査で、1月の火山噴火等による被害が9,000万ドル（約100億円）に達することが判明しました。本調査では、被災後の混乱する現地に調査団を派遣せずとも衛星写真や災害データベースなどから被害額を算出できる世界銀行のシステム（GRADE）を活用しました。世界銀行は、トンガの復旧・復興に向け、関係各国・国際機関と緊密に協力してまいります。



### 春の会合（4/18～24）・年次総会（10/14～16）

今年の「春の会合」は、コロナの状況に鑑み、開発委員会など一部会合を除き、オンラインでの開催となりました。また、10月の年次総会（秋の会合）はワシントンでの開催となり、モロッコ・マラケシュでの開催は2023年10月に延期されました。



## シンポジウム・セミナー紹介

### JETRO アジア経済研究所・世界銀行・朝日新聞共催 国際シンポジウム「サステナビリティと企業の社会的責任」（ビジネスと人権×SDGs）（1/27）

基調講演では、米ワシントン大学ラマサストリ教授、「SDGs アトラス 2020年版」を編集した世界銀行フー開発データ局長の両名が登壇。その後、金融庁・池田チーフサステナブルファイナンスオフィサー、経団連・長谷川常務理事、第一生命（株）銭谷フェロー、世界銀行・ブリート上級社会開発専門官をパネリストとして迎え意見交換した他、経済産業省の柏原ビジネス・人権政策統括調整官から、日本政府の取り組みや日本企業の動向などをご紹介頂きました。



## 学生インターン懇談会@世界銀行東京事務所（2/25）

世界銀行グループの下で民間資金を活用したインフラ整備の旗振りを行う GIF（Global Infrastructure Facility）では、高橋インフラ専門官が中心となって、様々な開発問題に取り組む NGO で研鑽を積む学生インターン等との懇談会を開催しました。



## 世界銀行・アジア開発銀行研究所（ADB）共催セミナー「世界経済見通し（GEP）2022年1月版」（2/2）

GEP（Global Economic Prospects）の責任者である世界銀行アイハン・コーゼ公正成長・金融・制度担当チーフエコノミスト兼見通し局長が報告書の内容を紹介したのにつき、アジア開発銀行研究所（ADB@東京）のジョン・バーンリサーチフェローがコメントしました。

## 東京防災ハブ（DRM Hub）・東京開発ラーニングセンター（TDLC）の活動

### GFDRR（防災グローバルファシリティ）Days（2/23-24）

東京防災ハブを始めとする世界銀行における防災の取り組みは、日本政府等の主導で設立された防災グローバルファシリティ（GFDRR）の下で行われています。本年の GFDRR Days では、マルパス総裁・トロツェンバーク専務理事・フォーグレ副総裁に加え、トンガの財務大臣、各国政府代表（日本は財務省緒方副財務官）の参加を得て、災害への備えの強化や災害時における弱者への配慮等について議論しました。



### TDLC セミナー「低炭素・気候変動対応型都市に向けた世界銀行知識共有シリーズ #6：日本におけるカーボン・クレジット市場の展望」（2/3）

都市が直面する様々な課題に取り組む TDLC では、日本のカーボン・クレジット市場に焦点を当てたセミナーを開催しました（モデレーター：ムラス TDLC チームリーダー・松木上級気候変動専門官）。環境省地球環境局より日本の気候変動対策や二国間クレジット制度（JCM）などを紹介頂いた他、コメンテーターとして、ベトナム天然資源環境省の気候変動局長、ガディ・カルハウゲ両名の世界銀行上級気候変動専門官を迎え、活発な議論が行われました。

### TDLC・東京防災ハブ共催研修「災害リスク管理と強靱なインフラ」（2/14～18）

TDLC・東京防災ハブは、災害に耐える強靱なインフラの開発促進に向け、7 か国約 60 名の参加者を迎え、対話型研修を共催しました。日本の災害対策の歩みや強靱化政策・事例を紹介した他、各国参加者より、それぞれが抱える課題やインフラ強靱化に向けた取り組みを発表し、都市開発・インフラ整備の進め方などについて意見交換しました。

## 世界銀行東京事務所職員紹介

### 柳美佐（やなぎみさ）：財務局ファイナンシャルアシスタント



2008 年より現職。財務局資本市場部で、日本の投資家向け IR 活動をサポート。世銀債を取り扱う金融機関への各種サービス、投資家への情報提供、セミナーの運営等に従事。世界銀行入行前は、欧州三井物産の金融子会社でアカウント業務、オランダ UFJ 銀行（現 MUFG バンク（ヨーロッパ））で法人営業アシスタント、日本航空名古屋支店・アムステルダム支店の地上職に従事。証券外務員 1 種保有。愛知県出身。

（編集：世界銀行東京事務所 開 裕香子）